

カルシウム受容体作動薬

- 副甲状腺細胞のカルシウム受容体に作用し、PTH分泌を持続的に抑制し、血清リン濃度、血清カルシウム濃度および血清PTH濃度を同時に低下させる
- 原則として補正血清カルシウム濃度 9.0 mg/dL以上で投与する

薬品名	特徴
シナカルセト塩酸塩（レグパラ®）	心血管病による入院リスクの低下が示されている 強いチトクロームCYP2D6阻害作用を有する 悪心など上部消化管症状が高頻度
エボカルセト（オルケディア®）	上部消化管症状を軽減 CYP分子種に対する阻害作用を低減
エテルカルセチド塩酸塩（パーサビブ®）	注射薬であり週3回透析回路から投与する 上部消化管症状はほとんどない